

令和6年度(前期) 運営推進会議の詳細

出席者：包括支援センター職員、地区民生委員、地域密着型通所介護の知見者
利用者

欠席者：利用者家族

1. はじめに

- ・ 職員の退職にともない新規雇用を行っているが、パート職員の方の多様な要望に応えるために多くの勤務時間を設定していますが、結果的には定着せず辞められている状況です。新規採用も段々と厳しく、ハローワークからの情報は全くなく、有料紹介会社からの情報も長続きしない雇用となっています。
- ・ 本年の2月にコロナ発症者が出てからは、職員及び利用者からは感染は出ていません。5類以降になってからはパーテーションを外していたところ、2月のコロナ発生があり、保健所からの指導に予防対策にパーテーション再設置しています。

《議事内容》

2. 事業運営状況

○利用実績状況報告

- ・ 別紙参照

* 利用減の原因として、定期的なショート利用、自己都合の方について説明

○行事

- ・ 別紙、デイサービス便り(毎月発行)を使っでの説明
- * 花見ドライブ、畑作り・収穫、母の日・父の日、敬老会

○相談 苦情なし

- ・ 粗っぽい言葉もされる方の様子をみていて不安になったとの訴え。
- * 今後の対応として、席を変えたり、トラブルが起こらないように注意する。

○事故

- ・ 無し

○ヒヤリ・ハット

- ・ 熱いお茶を冷ますために氷を入れていたら、その氷を口に入れてしまった。
- * 誤嚥の可能性があるため、氷を取り出してから置くようにする。

○職員関係、委員会

- ・ 冒頭のあいさつの職員雇用の難しい状況の詳細を説明。
- ・ 義務化となった身体拘束防止及び虐待防止の委員会の開催。BCP業務継続のためのシュミレーション、訓練を本年度中に実施する。

3. その他

- ・ 事業所の設備が経年劣化に故障が続き、特に空調関係(エアコン)の買替工事を実施。夏の高温多湿の状況に入浴時の体調不良が心配されるため、浴室内の換気扇増設、脱衣室にエアコン新設を行なった。

令和6年度 運営推進会議録

令和6年3月26 11:00～11:50

場 所：相談室

出席者：包括支援センター職員、地区民生委員、地域密着型通所介護の知見者
利用者

欠席者：利用者家族

【利用者からの感想】

- ・ いろいろな事を考えてやっておられるので楽しみで休まずに来ています。
敬老会では職員自らが神楽をやられ感心しました。

【各委員からのご意見、感想】

- ・ 地域住民代表
広報誌を見ていたら手作業や手作りおやつなど、工夫してされています。
最近の方は自己中心的に考えられるため雇用も大変だと思います。
- ・ 地域密着型通所介護の知見者
私もデイサービスで仕事をしていたので作業やレクなど大変だと思います。
高齢者数が少なくなっている、ケアマネ数の少なくなっていることを実感します。
今後の支援をどうしていけばよいのか…迷うところです。
救急総合病院での短期間の入院から在宅へ退院することは困難、施設(短期)入所をされるために在宅サービスの利用者数に影響すると思われれます。
- ・ 浜田市包括支援センター
各所の運営推進会議に出席していますが、どこの事業所も職員が集まらない、続かないことを言われています。
デイまつばらでされている雇用形態(パート職員の多様な時間設定)について、大変だと思いますがとても関心できることです。

【総評】

- ・ コロナが第5類となっていますが、事業所内では引き続きの感染対策(消毒、換気、利用中のマスク着用、パーテーション設置)を徹底する。今後に感染が発生した場合は段階的に対策をとりながら業務継続を行っていく。
- ・ 災害(地震、津波)を想定した避難訓練を全ての利用者を対象に実施、実際の避難経路の確認、避難方法を利用者及び職員で再確認しておく。職員に対しても災害の想定した訓練(机上訓練)を行うことで災害時に必要となること、段階的に実施できる業務内容、外部への支援要請を再検証する。